

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

| | | |
|---|--|--|
| 建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日 | 新潟市中央区事務所倉庫 中央区 神道寺1丁目91-1の一部他 準住居地域、第1種住居地域 事務所、工場、 2016年9月 予定 1,441.65 m ² 800.45 m ² 2,198.88 m ² 地上3階 S造 実施設計段階評価 2016年3月15日 | |
|---|--|--|

2. CASBEE新潟の評価結果

| | | |
|---|----|--|
| | B- | $BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{36.2}{40.2} = 0.9$ |
| S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ | | |

3. 新潟市の重点項目の評価

| 重点項目 | 平均スコア | 評価 | 項目 | スコア |
|---------------------------------------|-------|----|----------------|-----|
| 1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために | 3.2 | | バリアフリー | 3.0 |
| | | | 維持管理 | 3.5 |
| | | | 更新性 | 3.0 |
| 2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために | 2.9 | | 耐震・免震 | 3.0 |
| | | | 信頼性 | 2.8 |
| 3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために | 3.0 | | 雨水排水負荷低減 | 3.0 |
| | | | | |
| 4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために | 3.5 | | 建物の熱負荷抑制 | 4.0 |
| | | | 自然エネルギー利用 | 3.0 |
| | | | | |
| 5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために | 4.0 | | 節水 | 4.0 |
| | | | リサイクル材の使用 | 3.0 |
| | | | 再利用可能性向上 | 5.0 |
| 6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために | 1.5 | | 生物環境の保全・創出 | 1.0 |
| | | | 敷地内温熱環境の向上 | 2.0 |
| 7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために | 2.5 | | まちなみ・景観への配慮 | 2.0 |
| | | | 地域性への配慮、快適性の向上 | 3.0 |

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

長寿命化の取組み
高効率照明器具としてLED照明を採用した。また、外皮の断熱強化により、建物の熱負荷抑制に努めている。

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 新潟市中央区事務所倉庫 | 階数 | 地上3階 |
| 建設地 | 新潟県新潟市中央区 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 準住居地域、第1種住居地域 | 平均居住人員 | 0人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 4,000時間/年 |
| 建物用途 | 事務所、工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2016年9月 予定 | 評価の実施日 | 2016年3月15日 |
| 敷地面積 | 1,442 m ² | 作成者 | 高桑 渉 |
| 建築面積 | 800 m ² | 確認日 | 2016年3月15日 |
| 延床面積 | 2,199 m ² | 確認者 | 高桑 渉 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

| | |
|----------|------|
| ①参照値 | 100% |
| ②建築物の取組み | 95% |
| ③上記+②以外の | 95% |
| ④上記+ | 95% |

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

| | |
|-------|-----|
| 音環境 | 2.6 |
| 温熱環境 | 2.6 |
| 光・視環境 | 2.6 |
| 空気質環境 | 3.1 |

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

| | |
|-----|-----|
| 機能性 | 2.9 |
| 耐用性 | 2.8 |
| 対応性 | 2.7 |

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

| | |
|------|-----|
| 生物環境 | 1.0 |
| まちなみ | 2.0 |
| 地域性 | 2.5 |

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

| | |
|-------|-----|
| 建物の | 4.0 |
| 自然エネ | 3.0 |
| 設備システ | 4.0 |
| 効率的 | 3.0 |

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

| | |
|--------|-----|
| 水資源 | 3.4 |
| 非再生材料の | 3.3 |
| 汚染物質 | 4.3 |

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

| | |
|-------|-----|
| 地球温暖化 | 3.1 |
| 地域環境 | 3.0 |
| 周辺環境 | 3.1 |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|--|
| 総合 建物東側はカーテンウォールを採用し外部環境に対し開放的な空間を保つよう計画した。断熱材による建物の熱負荷の抑制、高効率設備機器を導入し建物の省エネ化を図った。 | | その他 事務室脇には休憩コーナー・喫煙室を設け、内部利用者が安心・快適に施設を利用できるように配慮した。 |
| Q1 室内環境 外壁はALCパネル、屋根は断熱材を採用し建物の熱負荷の抑制を図っている。また、内装材はF☆☆☆☆を使用し室内空気を健全に保ち、執務環境の安全性に努めた。 | Q2 サービス性能 防汚性、メンテナンス性に優れた材料の選定。業務に必要な機器の修繕ルートの確保。 | Q3 室外環境(敷地内) 街並みに対して圧迫感を与えないよう、色彩や配置に配慮した。 |
| LR1 エネルギー 高効率照明器具、高効率空調機の採用を行い、照度計画、空調計画によりエネルギーを削減した建築計画を目指した。 | LR2 資源・マテリアル リサイクル資源の利用。構造躯体と仕上げ材は容易に分離できる仕様とした。 | LR3 敷地外環境 騒音、光害の低減に努めた。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される